

平成20年第3回中原区区民会議

平成20年度第3回中原区区民会議が開催されました。

会議では区長のあいさつの後、課題調査部会の報告と各委員から取り組み報告があり、その後、第4回区民会議の検討テーマについて議論しました。

会議の内容は次のとおりです。

日時・会場など

平成20年1月20日（火）午後2時2分から午後3時59分まで

中原区役所5階会議室

会議の傍聴人 9名

会議次第

- ・開会
- ・会議録確認委員の選任
- ・議題
 - (1) 課題調査部会報告～課題解決に向けた取り組みの提案及び意見交換～
 - (2) 運営部会報告～第4回区民会議の検討テーマについて～
 - (3) その他
- ・閉会

議題検討における活動事例報告と主な委員意見

〈竹井副委員長から11月7日、27日の課題調査部会の報告〉

- ・一般的な放置自転車対策として、ハード面では駐輪場整備、撤去活動、ソフト面ではモラル、マナー等の啓発活動、駅に近いところは正規料金、少し遠いところは半額にするなどの料金制度を実施している。
- ・放置自転車とは、市の条例上、「自転車等の利用者が、当該自転車等から離れているため直ちに当該自転車等を移動することができない状態」という定義で、基本的には違法駐車と同じような概念ではないか。
- ・放置自転車の数は横ばいで、固定層の市民が放置自転車をしているのではないか。
- ・撤去活動の初めのターゲットは朝に通勤通学で駅を使われる方だったが、朝10時過ぎに放置自転車が増えることから、通勤通学者には一定の効果が得られている。
- ・昼以降に増える放置自転車の撤去はある意味イタチごっこのところがあり、根本的な解決には至らない。別の規範意識を生むことが必要ではないか。
- ・今後の課題としては、買い物客を想定した対策を新たな視点で考えていく必要がある。

る。また、全区的な取り組みとして、市民、町内会、商店街、店舗、事業者、企業との連携協働で放置自転車をなくしていく機運を高める取り組みが必要である。

- ・放置自転車という言葉的には柔らかい印象を受けるが、違法駐輪という言葉にすると法律を犯して置いているのが実態である。これからは違法駐輪という言葉を使いながら、いけないことだとわかっていただくことも必要との議論もあった。
- ・自転車利用者に対するマナー・モラル啓発活動として、町内会・自治会を初めとした地域によるマナー・モラル啓発活動を促進するために、啓発用チラシ、ポスター、のぼりを作成し、区の町内会連絡協議会を通じて各戸回覧や掲示板にポスターを張ってもらう。中町連、各町内会・自治会の会合等で自転車に対するマナー・モラル啓発活動をアピールし、必要に応じて説明者（講師）を派遣する。実行主体は各町内会・自治体、中原区町内会連絡協議会で、スケジュールは2月、3月から開始して22年までの1年間ぐらいの大まかなスケジュールである。
- ・区民会議委員の出身団体におけるマナー・モラル啓発活動の促進として、啓発用チラシを各団体の会合などで参加者に配布し、必要に応じて説明者（講師）を派遣する。
- ・若い世代に向けた啓発活動の実施として、子どもや子育て世代に関連の深い団体を通じて啓発用チラシを会合などで参加者に配布して、必要に応じて講師を派遣する。
- ・駅周辺の商店街における放置自転車対策の取り組み促進として、モデル地区として12月から取り組んでいる新丸子駅商店街の事例を他の商店街にも紹介して、駐輪場をきちんと使った方には商店街での割引制度、店舗前の簡易駐輪スペースも設置、買い物中の札の交付も商店街ごとに考えていただきたい。
- ・地域における放置自転車対策の取り組みとの連携として、①地域における自主的な放置自転車対策やマナー・モラル啓発活動に必要な物品の貸与の具体的な取り組み事例として、新丸子の商店街、新城中央町内会の取り組みにのぼり、腕章等の貸し出しを行っている。②放置自転車への警告札貼付などの取り組みと放置自転車撤去活動の連携は、新丸子駅周辺の商店街と連携して、警告チラシを張った抑止効果を高める工夫を行っている。③交通安全キャンペーンと連携して区民会議の取り組みをアピールの具体的な方法は現在検討中だが、地域の方々、警察、区役所と協働して年4回キャンペーンを行っている中に区民会議の方々にも参加いただきながら、放置自転車問題への取り組みをアピールすることなどを想定している。
- ・小杉駅周辺再開発地区をモデル地区として駐輪場への的確な誘導と利用促進キャンペーンの実施を検討として、平成22年3月に横須賀線武蔵小杉新駅が開業されることから、放置自転車を未然に防ぎ、また、JRの新駅に新たに設置予定の駐輪場へ適切な誘導を行い、放置自転車の防止を図る取り組みの実施を検討している。
- ・小杉駅周辺再開発地区をモデル地区として自転車利用者動向調査の実施を検討として、より効果的な放置自転車対策を行うために、小杉駅周辺をモデル地区にして、時

間帯別、地区別の放置自転車台数や自転車利用者の動向について調査実施の検討を行う。定点的な台数調査にとどまらず、利用者のヒアリングも重要なので、予算上の問題や調査時期などについては検討を行っている。

- ・その他の課題で自転車利用者のための環境整備では、夜にライトをつけていない、歩道をすごい勢いで走っていくなどの問題がある。ハード面として道路を少しずつ広くする、歩道にも自転車専用道をつくる、標識等を整備していくことが必要である。
- ・駅から離れた場所への駐輪場設置として、健康のために自転車を使わないで歩くことや駅から離れた場所への駐輪場設置ができないか。
- ・自転車に代わる交通手段の検討として、コミュニティバスなど新たな交通手段の検討も必要である。
- ・区民会議で取り上げた課題解決の取り組みの窓口として、中原区民23万人の区民全員に知っていただくために、中原区町内会連絡協議会のような地域課題連絡協議会（仮称）の設置を提案したい。
- ・ハード面の取り組みだけではなくて、今後はマナー・モラルキャンペーン、商店街の取り組みなどのソフト面も重視して、行政だけではなくて、住民が真剣に取り組める内容を区民会議を中心に提案していきたい。

〈取り組み事例報告①小杉町二丁目町内会（吉房委員）〉

- ・昨年7月1日から自転車マナーアップ運動の取り組みとして、地域振興会にお願いしてポスター等を作ってもらい、フェンスに大型ポスターを約20枚張ったり、啓発運動としてマナーアップ10カ条のチラシを2,000部ぐらい配布し、小杉二丁目の発信としてマナーアップ運動を展開していきたい。

〈取り組み事例報告②区PTA協議会（大下委員）〉

- ・中原区PTA協議会の中で、区民会議で取り組まれているほど重要になっている違法駐輪の問題が案外認識されていないことがわかった。
- ・芳賀委員に区P協の運営会議の席で今置かれている現状を説明していただき、違法駐輪の時間帯は午後からで、その時間帯に保護者が意識せずに自転車を駐輪していることが多いと気づくことができた。また、自共生の活動中でのクレームに、PTA活動中に迷惑をかけている状態があることを知ることができた。今後は各学校にこの問題を持ち帰り、どのような形で対処していけるかを話し合っていきたい。

〈取り組み事例報告③新丸子商店街（川連委員）〉

- ・新丸子地区では昨年12月に4回、放置自転車に警告文をつけた。1回目、2回目はかなり効いたが、3回目、4回目には少し台数が増えてしまった。大人にモラルやマ

ナーを守れと言っても無理なので、小さい子どもにマナーを身につけてもらいたい。

報告事項に対する委員からの主な意見・提案

- ・自転車と共生するまちづくり委員会ではポスターをつくり、今月から実際に掲示する予定である。また、呼びかけ活動として、放置の問題を書いたポスターを作ったり、歩くことを勧めている。
- ・自転車駐輪場を利用したいときに、駐輪場の空き情報がなかなかない。時間帯によっては既に満杯になっていて、他の駐輪場に移動しなければならないこともあるので、時間帯別の空き情報が得られれば便利である。また、違法駐輪自体はしたくなくても、行った駐輪場が満車だと、その近くにとめてしまうのではないか。
 - この地区では東横線下のマクドナルド後ろの駐輪場ぐらいしか空いていないが、昼ごろにはほとんど不可能に近い。10時過ぎならば当日枠で50台分ぐらいあいている。短時間であれば、フーディアムやヨーカ堂、東急は無料で開放しているが、ヨーカー堂は、400台のうち200台分ぐらいが通勤通学者の利用で午前中にはいっぱいになり、午後3時ごろは全く利用できない。私の経験上、駐輪場に満車と出ている、とめるところがないと言うと大概おじさんが受けてくれる。
- ・中原区は平地が多く自転車と切り離せないで、駅の近くに駐輪場増設の希望をいつも持っている。例えば、何年か前につくられた武蔵中原駅駅前の公園に3階建てぐらいの駐輪場ができていれば、あとは、町会や自治会でやっているマナーをしっかりと守って下さいというソフト面の一致団結で突き進めていけばいいと思う。
 - 横須賀線武蔵小杉駅が平成22年3月開業予定で、駅前広場に4階建ての1,400台収容の駐輪場が新たに増設される。
- ・東急東口の三井のビル前の中央広場に600台と、東京電力の変電所跡の一番南側に650台ぐらいの駐輪場が整備されるが、これは既存の駐輪場が移設される。
- ・平間、中丸子、向河原にももっと目を向けなければいけないと思う。
- ・新丸子駅の西口周辺は特にひどく、1月8日に撤去しても15日には30台ほどが並んでいる状況である。タワープレイスの前も、警備員はいるが全く聞かないような状況で2列に並んでとめてあるので、もっときれいにしたいと思っている。これからまた考えていただければありがたい。
- ・NPO法人小杉駅周辺エリアマネジメントの子育て交流のパパママパークこすぎ実行委員会アンケート調査を行った。70枚配布して56枚、80%の回収率で、年齢は30代が約62%、性別は女性が92.3%、自転車を日ごろ利用していない方が72%、買い物目的で店舗、スーパーの駐輪スペースの利用が92%、自転車は左側通行で車道を走るのが原則であるが、61%が歩道を走っている状況であった。自由記述については、違法駐輪をしないように取り締まってほしい、小杉駅はみっともないので全

面駐輪禁止区域にしてほしいといった話が多かった。きれいな武蔵小杉のまちにするためにマナーアップに努力していきたい。

- ・現在、再開発地域には12月末で2,100世帯が入居しており、マンション住民の駐輪場はきちんと地下にあるので、駐輪場を使うことは少ないと思う。また、マンション住民には、比較的駅に近いので歩くことを呼びかけている。
- ・再開発に伴い自転車駐輪場の移転や削減が行われており、東急武蔵小杉駅南口の中小企業婦人会館は閉鎖されるが、南口に交通広場が整備されて駐輪場が新設される。東電横の無料駐輪場は、暫定的に市民館を使う形で計画されているが、その後は同じく南口の駐輪場へ移転される。再開発に伴って削減された分は新たに整備され、横須賀線武蔵小杉新駅にできる駐車場分は純増となる。
- ・先日、芳賀委員に区P協に来ていただいたときに運営委員から、駐輪場は時間帯によっては薄暗いので、安全面を考えると駐輪場を利用しないほうが安全なため、あえて親のほうが利用を控えさせているとの報告があった。今後この点も踏まえて考えていただければと思う。
- ・20年か18年ぐらい前に、小杉駅周辺を起点に半径500メートル以内に住んでいる方は、通勤通学で自転車を使わないようにということが出たときに、それはかなり効いた。こういうことを強く決断したほうが効果があると思う。

(2) 運営部会報告～第4回区民会議の検討テーマについて～

- ・第4回区民会議で話し合う検討テーマについて審議を行い、主な意見としては、地域の人々の活動や交流の場づくりが重要なテーマであり、地域コミュニティの拠点をつくれば防災防犯の情報も入ってくるし、地域の人たちが集まるおしゃべりの場にもなるとの意見や、防災を切り口に小学校単位で地域コミュニティを考えたほうがいいのではないかと、ごみやたばこのポイ捨てなどマナーの問題をばらばらに取り組むのではなく、整理した取り組みが必要であるといった意見、地域コミュニティは、地域の場づくりのハード面と人々が集まって交流が生まれるソフト面のそれぞれのコミュニティづくりが必要である、市民も人と人とのネットワークをつくることで災害時の地域拠点として考えることが必要であるといった意見が出された。
- ・そのような意見の結果、運営部会としては、次回のテーマは「これからの地域コミュニティづくりを考える」とし、地域のさまざまな問題を解決する地域の力を高めていくためにはどうすればよいのか、地域における人々の交流を促進して自治活動や市民活動など地域活動をどのように活性化していくべきかを検討していきたい。

〈委員からの主な意見・提案〉

- ・コミュニティの場所、拠点を1カ所に固定してしまうと、固定した人しか来ないので余りよくないと思う。中原区の方々に散らばってやったほうが大勢の人のいろいろ

るな情報が入る。

〈竹井副委員長からの提案〉

- ・ 第1期の区民会議で環境問題を扱い、「地球にいいことプロジェクト」を昨年度推進していたが、まだ区民全員に浸透していないので、今後も継続してやっていくために準備会をつくって、今後半年ぐらいかけてどういう体制が必要かを検討したい。第1回の準備会は、1月29日木曜日午後6時半から区役所5階506会議室で行うので、関心のある方などに知らせて参加を募っていただきたい。
- ・ C C川崎エコ会議のシンポジウムを、1月27日火曜日午後3時から産業振興会館で「あなたが変われば地球が変わる」というテーマで開催するので、時間のある方はぜひ参加願いたい。